

学校だより

蓮沼中鏡

平成27年度 第1号
平成27年4月16日発行
大田区立蓮沼中学校
校長 大原 章博

気分一新 蓮中維新 元年 開校60周年の年…新たな伝統を!

☆☆☆ 開校60周年 ☆☆☆

今年度は、蓮沼中開校60周年に当たります。昭和31年に本校が開校されました。そこで、今年度を、「蓮中維新」と呼び、蓮中の改革、改善に努めたいと考えています。教職員・生徒・保護者・地域が一つになって、新しい蓮中を創っていききたいという願いを込めました。

☆☆☆ 入学、進級おめでとうございます ☆☆☆

生徒並びに保護者の皆様、入学そして進級おめでとうございます。今年は、あいにくの雨模様でしたが、桜の花びらの舞う中、入学式が挙行されました。113名の新入生を迎え、平成27年度は、380名でのスタートとなりました。

入学式では、二つの話をしました。第一に、「よい友になってほしい」ということです。入学・進級で、生徒は新しい友「新友」に出会います。ところが、人には相性というものがある、気が合う人もいれば合わない人もいます。しかし、よく知っていくと、どの人にも必ず「よさ」があることに気づくものです。そこで、「新友」が、親しい友「親友」や真の友「真友」に変わっていきます。この「親友」「真友」をつくるためには、自分自身が「良い友」にならなくてはなりません。学級や部活動などで自分から積極的に声をかけて「良い友になる」努力をしてほしいのです。やがて、卒業してもこうしてできた友は、心の友「心友」となるものなのです。

第二は、「すなお」であってほしい、ということ。中学校での学習は、授業中、斜に構えては、頭に入らないばかりか、自分の学力として身につけません。また、中学生は、生活面でもたくさんの失敗をします。大人から注意を受けたときに悪かったと反省し、心からごめんなさいをして、同じ過ちを繰り返さないことが大切です。これらをしっかり実行するためには「すなお」な心が必要なのです。「すなお」は、人を成長させるだけでなく、社会を動かす原動力になると思っています。

☆☆☆ 今年度重点是 「向上心あふれる学校」 ☆☆☆

私の理想とする学校像は、「見える学校」「安全な学校」「規律ある学校」「向上心あふれる学校」「美しい学校」の5つです。昨年度は「見える学校」「美しい学校」を重点として取り組んできました。今年度も引き続き、理想の形に近づけていきたいと思っています。さらに、今年度は「向上心あふれる学校」めざして、取り組んでいきたいと考え、生徒に3つの課題を提示しました。

- 1 自主的に努力を継続していき、家庭学習の充実を図ること。
- 2 自分の可能性を信じて、何事にもプラス思考でチャレンジしていく姿勢をもつこと。
- 3 仲間とともに励まし合い、協力し合って何かを成し遂げる努力をすること。

これらの課題に対する具体的な努力の内容、方法については、自分の今の力がどれくらいかに応じて、自ら考え、実行することです。皆さん一人一人が、地道な努力を積み重ねることが、蓮中維新につながり、新たな校風として蓮中に根付いていくものと信じています。しかも、努力することで日々の感動体験も味わえると思っています。そして、開校60周年を迎える蓮中での楽しい学校生活を創造していくことを期待しています。



これらの課題を解決するためには、保護者の皆様、地域の方々にご支援、ご協力をいただきながら取り組んでいきたいと思っています。しかし、一番の基盤は家庭です。保護者の皆様の協力なくしては、生徒の向上心を高めることは困難だと思っています。なにとぞ、本校の教育活動にご協力とご理解をいただき、生徒一人ひとりが向上心あふれた学校生活を送れるよう、よろしくお願いいたします。

教職員の変動

お世話になりました

「転出・退職」

久保 尚子〔数学〕 大田区立南六郷中学校へ
山本絵理子〔英語〕 杉並区立天沼中学校へ
佐々木綾祐〔社会〕 宮城県色麻町立色麻中学校へ
松井 勇祐〔介添〕 大田区立東調布中学校教員へ
伊藤 秀子〔用務〕 退職
関口久美子〔S C〕 退職

よろしくお願いします

伊藤 光〔社会〕 新規採用
喜多 陽子〔国語〕 大田区立安方中学校から
桐生 澄江〔理科〕 大田区立大森第二中学校から
高橋麻依子〔英語〕 新規採用
小嶋 智子〔介添〕 新規採用
池田美保子〔用務〕 大田区立中富小学校から
田島 良〔S C〕 大田区立大森第十中学校から

生徒会入会式 & 部活紹介



生徒会主催で生徒会入会式(9日)と部活動紹介(10日)を行いました。生徒会入会式は、新入生に対して、中学校生活や生徒会活動や各種委員会の説明を行い、新入生の各クラスに鉢植えを贈呈して、歓迎しました。部活動紹介は、今年度の新たな取り組みです。昨年度までは、部活動の紹介も生徒会入会式のときに、生徒会役員が紹介していましたが、今年度から、各部活動の部員による紹介を行うことにしました。これは、部活動

で実際に活動している部員が、所属している部のことを一番わかっていると同時に、多くの新入部を期待しているのですから、生徒自ら、自分の部活を紹介し、部員を勧誘させる目的で行うことにしました。

準備から進行まで、生徒の自主性に任せて行いました。生徒会役員も各部活の代表者も1年生に活動内容をわかってもらおうと、一生懸命でした。しかも、自分たちの自主的な活動の場の一つとしてとらえ、生き生きと説明していました。

生徒会活動は、生徒の自治的活動の場であり蓮沼中の今後を背負って立っていくものです。昨年度は、夏期の水筒持参について、きまりを決め、二度の試行期間を行い、実現することができました。また、部活動は心身の鍛錬と共に人格形成上で効果をもたらし、頑張りぬく力がつきます。

1年生には、早く中学校生活に慣れて、生徒会活動や部活動でそれぞれの良さを発揮して活躍してほしいものです。上級生には、1年生の手本となる行動、「あの先輩のようにになりたい」と目標とされるような活動や姿勢を示し、蓮中の自主的活動の担い手となってほしいと思っています。5月10日(土)には部活動保護者会を開催する予定です。保護者の皆様のご出席をお待ちしています。

